

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度 第2回吉川市児童福祉審議会
開 催 日 時	令和元年11月15日(金) 午後6時00分から 午後7時35分まで
開 催 場 所	吉川市役所第204会議室
出席委員(者)氏名	手塚崇子委員(会長)、中野智恵子委員、大月浩史委員、新井一弘委員、吉岡弘美委員、石間太朗委員
欠席委員(者)氏名	五十嵐修委員、熊木崇人委員
担当課職員職氏名	こども福祉部子育て支援課長 桜井健一 こども福祉部障がい福祉課長 加藤利明 こども福祉部保育幼稚園課長 島村善和 こども福祉部保育幼稚園課 課長補佐兼保育幼稚園係長 宮田匡寿 こども福祉部保育幼稚園課 課長補佐兼施設運営係長 三宅一規 こども福祉部子育て支援課 課長補佐兼子ども給付係長 飯野耕太郎 こども福祉部子育て支援課 子育て支援係長 青柳乃り恵 こども福祉部子育て支援課 子育て支援係主事 石井賢聖 こども福祉部子育て支援課 子育て支援係主事 今関夕貴 健康長寿部健康増進課 母子保健係長 稲見絹子
会議次第と会議の公開 又は非公開の別	1 開 会 2 委嘱書交付 3 あいさつ 4 委員自己紹介 5 会長選出 6 議 事 (1) 子ども・子育て支援事業計画の概要について (2) 第二期吉川市子ども・子育て支援事業計画(骨子案)について 7 その他 8 閉会 ※ すべて公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開にした場合)	なし
傍 聴 者 の 数	なし
会 議 資 料 の 名 称	・資料1 第二期吉川市子ども・子育て支援事業計画のスケジュール ・資料2 第二期吉川市子ども・子育て支援事業計画(骨子案) ・その他 吉川市子どもの貧困対策推進計画【概要版】
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	中野委員、大月委員

その他の必要事項	
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	<p>資料の確認</p> <p>1. 開会</p> <p>開会の宣言</p> <p>2. 委嘱書交付</p> <p>3. あいさつ</p> <p>子育て支援課長あいさつ</p> <p>4. 自己紹介</p> <p>委員及び事務局の自己紹介</p> <p>5. 会長選出</p> <p>吉川市児童福祉審議会条例第5条に基づき、会長を選出。事務局一任との意見があったため、会長として手塚崇子委員を提案し、承認、選出された。</p> <p>手塚会長あいさつ</p> <p>6. 議事</p>
会長	<p>(1) 子ども・子育て支援事業計画の概要について</p> <p>【関係資料】</p> <p>資料1 子ども・子育て支援事業計画の概要について</p> <p>資料2 第二期吉川市子ども・子育て支援事業計画(骨子案)</p>
事務局	<p>(担当課より資料について説明)</p> <p>(質疑応答)</p> <p>なし</p>
会長	<p>(2) 第二期吉川市子ども・子育て支援事業計画(骨子案)について</p> <p>【関係資料】</p> <p>資料2 第二期吉川市子ども・子育て支援事業計画(骨子案)</p>
事務局	<p>(担当課より資料について説明)</p> <p>(質疑応答)</p>
委員	<p>基本理念が“子育て支援”の内容であり、直接的な子ども支援の視点が欠けているのではないかと。具体的な内容を理念に入れた方がよい</p>

	<p>と考える。また、二期計画では1番目の基本理念に子どもの視点を入れたとの説明があったが、他の理念にも子どもの視点を入れていくべきでは。</p> <p>また、保育に関して量の確保に関する記載はあるが、質の向上についての内容の記載がない。</p>
委員	<p>地域型の保育所が増えているが、保育士の虐待などが報道されており、現場で働く保育士の教育に問題があると感じている。労働条件や保育環境が改善されてこそ子どもの健全な成長につながると考えている。</p>
委員	<p>“連携”について申し上げたい。子どもを取り巻く環境を整えることは大切であるが、それぞれの現場が目標を達成するためには、行政や民間を含めた関係機関同士の連携について、取り上げていくことも必要と感じている。</p>
委員	<p>基本理念についてみると、子育てをする親に問題があるような表現になっているのではないか。計画には市がどうレベルアップしていくかという視点も含めた方がよい。</p>
委員	<p>9頁「重点施策1」幼児期の教育・保育事業の充実の項目であるが、「待機児童ゼロの達成及び維持に努める」との標記になっている。子育て家庭が安心して子育てできる環境づくりは、量のみで達成できるものではなく、質の向上を確保する必要があると感じている。</p>
事務局	<p>子ども子育て支援法に基づいて計画を策定しているが、本日提示している案については第一期計画を踏襲したものとなっている。法に基づいて考えた場合、量も捉えながら質の部分についても包含する必要があると考えている。次回の審議会では、その部分を整理し、案を提示したいと考えている。</p>

委員	重点施策1に質の向上についての内容を盛り込むことは可能であるか。
事務局	可能である。
会長	質の向上について、子どもを主体とした考えを含めることまた、連携についての考えをどのように示していくか、事務局の方で再度検討してもらおう形でよいのではないか。
委員	9頁「(2) 基本理念に基づく子ども・子育て支援施策」のうち、施策1から施策3までの項目の数や内容について、今後変更することは可能であるか
事務局	可能である。
委員	施策1から3については、前回の第1期を踏襲しているものなのか、それとも考え方に変更はあるのか。
事務局	第二期計画における施策の考え方としては、施策1は子どもたちの育ちに直接つながる基本的な支援。施策2については切れ目ない支援として行政が行うもの。また、施策3については生活全般について地域と行政が協働で行うものと捉えている。
委員	保育園や幼稚園についてはどの項目に入るのか。
事務局	重点施策1「幼稚園の教育・保育事業の充実」の項目の中で示していく。
事務局	推進体制についてであるが、第6章の中で、関係部局間相互の連携

として、既に示させていただいている。また、実施計画としては、個別の事業で連携について明文化するというより、計画全体で当然のごとく推進していくべきとの考え方もあるので、今後整理をさせていただきたい。

また、重点施策1では量のみでなく、質の部分を含めて考えている。質を含めた具体的な内容は、各事業に落としとしていくというイメージで考えていただきたい。

7. その他

(1) 吉川市子どもの貧困対策推進計画・子どもの未来応援集会について

(担当課より概要を説明)

(2) 第3回児童福祉審議会について

今回は令和2年1月中旬に実施の予定である。今後とも引き続き協力をお願いしたい。

8. 閉会

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 元 年 12 月 20 日

署名委員 大月 浩史 (自署)

署名委員 中野 智恵子 (自署)